OSAKA CITY
大阪市

令和8年度

# 大阪市グリーンボンド インパクトレポート



令和8年10月　大阪市

# SDGsの取組（1）

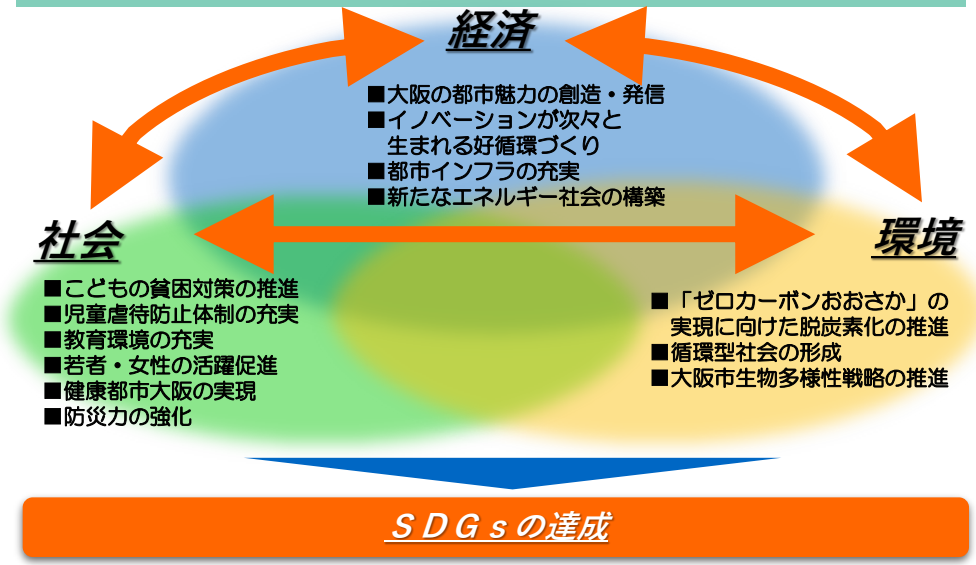
**SDGsの理念を取り込んだ総合戦略を策定し、引き続き「経済・社会・環境」の3側面から取組を積極的に推進**

## 大阪市未来都市創生総合戦略（2024年3月策定）

| | |
|---|---|
| **戦略の方向性** | **一人ひとりが多様な幸せ（Well-being）を実感でき、誰もが安心していつまでも住み続けたいと思う「にぎやかで活気あふれるまち大阪」の実現をめざす** |
| **趣旨** | 大阪市が将来にわたって持続可能な都市として成長・発展していくため、人口動向及び将来推計等を踏まえ、政策目標や施策の基本的方向、具体的な施策を取りまとめるもの |
| **対象期間** | 2024年度から2028年度までの5年間 |
| **推進体制** | 市長をトップとする「大阪市未来都市創生会議」において、進捗管理を行いながら、全庁的に推進 |

| 基本目標 | |
|---|---|
| ① | 未来を担う人材を育成するとともに誰もが活躍できる社会をつくる |
| ② | 健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる |
| ③ | 魅力と活力あふれる大阪をつくる |
| ④ | DXの推進を通じてそれぞれの幸せを実感できる都市への成長・発展につなげる |

## SDGsの取組を経済・社会・環境の３側面から推進




## 大阪府・大阪市SDGs未来都市計画

**2020年度に大阪府と大阪市が「SDGs未来都市」および「自治体モデル事業」として内閣府より選定**

| | |
|---|---|
| **概要** | 「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げる大阪・関西万博の開催都市として、行政だけでなく、府民や企業、市町村、金融機関、経済界などあらゆるステークホルダーとの連携を広げつつ、2030年のあるべき姿に向け、一人ひとりがSDGsを意識し自律的に行動する「SDGｓ先進都市」の実現をめざす |
| **自治体モデル事業** | ３側面をつなぐ統合的取組<br>**「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進事業** |

# SDGsの取組（2）

## 目標年次である2030年までの取組工程

2025年万博に向け、**「SDGs先進都市」としての基盤を整え**、2030年SDGs目標年次に向けた取組の促進を図り、**万博のレガシーとして「SDGs先進都市」を実現**

**未来都市選定 SDGs**

**SDGs先進都市としての基盤を整える**

- 誰もがSDGsを意識し、自律的に行動する大阪を実現していく
- 様々なステークホルダーが自分なりのSDGsに取り組む中で、特に、重点ゴールの底上げに注力していく

**大阪・関西万博**

**万博レガシーとして、SDGs先進都市を実現**

- 改めて、2025年時点のSDGs17ゴールの到達点を分析
- 「SDGs + beyond」も見据え、SDGs達成に向け、オール大阪で取組を促進
- SDGsの取組みを通じ、様々な場面で世界に貢献していく

**SDGs目標年次**

**SDGs + beyond**

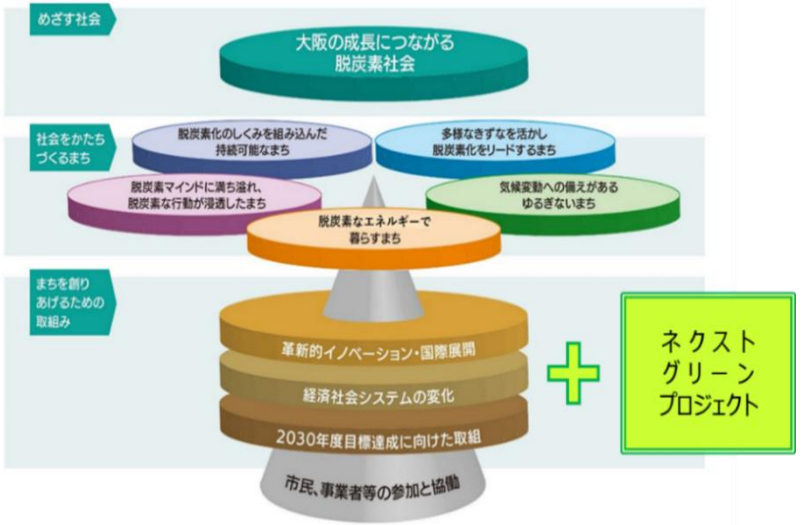
**2020年** → **2025年** → **2030年**

## 環境先進都市大阪の実現

- 脱炭素社会、循環共生型社会の実現に向け、大阪・関西万博で示された最新の脱炭素化技術の実装化など、2030年度目標に向けた新たな施策パッケージ「ネクストグリーンプロジェクト」の推進などに取組み、環境と成長の好循環を推進します。
- 特に、2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロをめざす**「ゼロカーボン　おおさか」**の実現に向け、再生可能エネルギーの普及拡大・エネルギー消費の抑制等に取り組みます。
- 徹底した省エネや再生可能エネルギーの普及促進などにより、エネルギーコストの低減とエネルギーセキュリティの向上に取り組むとともに、大阪の成長や市民の安全・安心な暮らしを実現する脱炭素化時代の「新たなエネルギー社会」の構築を先導します。

| KPI（指標） | 目標値 | 2013年度（平成25年度） | 2023年度※暫定（令和5年度） |
|---|---|---|---|
| 市域の温室効果ガス総排出量 | 2030年度までに50%削減（2013年度比） | 2,076万トン-CO2 | 1,761万トン-CO2 ▲15.2% |

**「ゼロカーボン　おおさか」に向けたスキーム**



# SDGsの取組（3）

## グリーンボンド発行の意義・目的

### SDGsに関する取組と環境基本計画

- 環境問題が地球規模で拡大する中、大阪市では、環境施策のマスタープランである「大阪市環境基本計画」を2025年３月に改定し、**「SDGs達成に貢献する環境先進都市」**の実現をめざして、「脱炭素社会の構築」、「循環型社会の形成」、「快適な都市環境の確保」を３つの柱にして、「すべての主体の参加と協働」のもと、引き続き様々な取組みを進めています。
- 安全で快適に生活できる都市環境の確保を図り、環境への負荷が少なく、持続的発展が可能なまちの実現をめざします。




### グリーンボンドの発行目的

- 我が国では、気候変動に起因する生活、社会、経済及び自然環境における影響が生じており、こうした影響が長期にわたり拡大する恐れがあることから、国、地方公共団体、事業者、国民が気候変動適応の推進のために担うべき役割を明確化した気候変動適応法が平成30（2018）年12月に施行されました。
- 本市では、気候変動の緩和策・適応策を行うための資金調達としてグリーンボンドを発行し、持続可能な開発目標（SDGs）やパリ協定の目標達成に貢献する取組を進めてまいります。
- 大阪市グリーンボンドによる調達資金は、持続可能な社会の実現に資する事業に充当します。




[出所：大阪府HP]
（https://www.pref.osaka.lg.jp/kikaku_keikaku/sdgs/index.html）

# 令和7年度 大阪市グリーンボンドの概要

| | |
|---|---|
| **公債の名称** | 大阪市第4回公募公債（グリーンボンド）（5年） |
| **年限** | 5年満期一括債 |
| **発行額** | 50億円 |
| **利率** | 1.713% |
| **発行日** | 令和8年（2026年）1月27日（火） |
| **取得格付** | A+ （S&Pグローバル・レーティングジャパン株式会社）<br>A1 （ムーディーズ・ジャパン株式会社） |
| **主幹事** | 野村證券株式会社（事務）、みずほ証券株式会社 |
| **第三者評価** | 国際資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則2025及び環境省グリーンボンドガイドライン2024年版との適合性について、格付投資情報センター（R&I）より第三者評価を取得 |
| **販売状況** | 応募倍率：約1.3倍<br>参加投資家数：31件（内、表明先：24件） |

# 令和7年度 大阪市グリーンボンドの投資表明一覧

| No | 投資家名 |
|---|---|
| 1 | 一般財団法人 加多乃会 |
| 2 | 大阪府貨物運送協同組合連合会 |
| 3 | 大阪湾広域臨海環境整備センター |
| 4 | オリックス銀行株式会社 |
| 5 | 株式会社池田泉州銀行 |
| 6 | 株式会社 大阪市開発公社 |
| 7 | 株式会社 大阪城ホール |
| 8 | 株式会社関西みらい銀行 |
| 9 | 株式会社大運 |
| 10 | 株式会社千葉興業銀行 |
| 11 | 倉吉信用金庫 |
| 12 | 生活協同組合コープこうべ |
| 13 | セイブ化成株式会社 |
| 14 | ソニー損害保険株式会社 |
| 15 | 大都美装株式会社 |
| 16 | 独立行政法人 造幣局 |
| 17 | 日本精線株式会社 |
| 18 | 日本コープ共済生活協同組合連合会 |
| 19 | 日本地震再保険株式会社 |
| 20 | のぞみ信用組合 |
| 21 | 兵庫県 |
| 22 | 枚方信用金庫 |
| 23 | 三国紙工株式会社 |
| 24 | 三菱UFJアセットマネジメント株式会社 |

**令和7年度のグリーンボンドでは**
**24件の投資家様から投資表明をいただきました。**
**市内外の方から広く賛同をいただいております。**

# 令和7年度 資金充当状況・環境改善効果

| プロジェクト分類 | 主なプロジェクト | 充当金額（百万円） | レポーティング項目 |
|---|---|---|---|
| **クリーン輸送** | なにわ筋線事業 | **3,185** | $CO_2$の削減量（推計） |
| **エネルギー効率** | 下水道事業 | **500** | $CO_2$の削減量（推計） |
| **気候変動適応** | 埋立地の浸水対策<br>（高波等に対する浸水対策） | **300** | 浸水面積の削減量（ha）（推計） |
| | 無電柱化事業 | **10** | 幹線道路の延長距離（km）<br>整備延長の距離（km）<br>整備の進捗率（%） |
| | うめきた２期区域のまちづくり<br>（大深町地区防災公園街区整備事業） | **1,005** | 緑地、親水空間の面積（ha） |

# なにわ筋線事業

## 具体的な資金使途

| プロジェクト分類 | 対象事業 | 環境面／社会面での便益 |
|---|---|---|
| **クリーン輸送** | なにわ筋線事業 | 旅客鉄道の使用推進による<br>温室効果ガスの排出削減 |

## なにわ筋線事業

- グリーンボンドの調達資金は、なにわ筋線事業に充当しました。
- なにわ筋線事業は、2023年３月開業の「大阪駅（うめきたエリア）」と、ＪＲ難波駅及び南海本線の新今宮駅をつなぐ新線を整備することで、関西国際空港や泉州地域から大阪都心を直結し、さらに高速幹線ネットワークの要である新大阪、京都等へのアクセス改善など都市鉄道ネットワークを強化することを目的としています。
- 当該事業は「クリーン輸送」に該当し、定量的な環境改善効果として、鉄道利便性の向上に伴う自動車交通量の削減により、一定の前提のもと、CO2削減量で約1,300t-CO2／年の温室効果ガス削減効果が見込まれるとともに、NOx削減量で約6t-NOx／年が見込まれています。

| | |
|---|---|
| **SDGs目標** |  |
| **CO2の削減量** | 約1,300t-CO2／年（推計） |

■なにわ筋線の概要




[出所：関西高速鉄道株式会社HP]

# 下水道事業

## 具体的な資金使途

| プロジェクト分類 | 対象事業 | 環境面／社会面での便益 |
|---|---|---|
| **エネルギー効率** | 下水道事業 | 下水処理場で発生する温室効果ガスの排出削減 |

## 下水道事業

- グリーンボンドの調達資金は、下水道事業に充当しました。
- 本市では、汚泥をより効率的に処理し有効利用を図っていくため、送泥パイプを経由して拠点となる2ヵ所の汚泥処理施設（舞洲スラッジセンター・平野下水処理場）へ送泥し、汚泥溶融炉等で集中処理しています。
- 汚泥溶解炉等で汚泥を集中処理することで、汚泥の焼却・埋め立て処分が回避され、汚泥処理施設のエネルギー効率化に伴い明確な CO2 削減効果が見込まれています。
- 汚泥処理施設の設備改築と汚泥焼却負荷の削減、消化ガス発電・熱回収により下水道事業全体でエネルギー効率の向上に取り組んでいます。

| | |
|---|---|
| **SDGs目標** |  |
| **CO2の削減量** | 約3,194ｔ･CO2/年（推計） |

■舞洲スラッジセンター外観



[出所：大阪市HP]

# 埋立地の浸水対策（高波等に対する浸水対策）

## 具体的な資金使途

| プロジェクト分類 | 対象事業 | 環境面／社会面での便益 |
|---|---|---|
| **気候変動適応** | 埋立地の浸水対策（高波等に対する浸水対策） | 自然災害リスクに対する防災機能の強化 |

## 埋立地の浸水対策（高波等に対する浸水対策）

- グリーンボンドの調達資金は、大阪港における埋立地の浸水対策に充当しました。
- 本市は、平成30年台風第 21号の高波等による埋立地（咲洲・舞洲・夢洲）の浸水被害を踏まえ、過去最大規模である伊勢湾台風級の台風も想定した浸水シミュレーションを実施し、効果的な浸水対策に取り組んでいます。
- 対策総延長約19.7㎞を段階的に実施する計画としており、対策の効果として、浸水面積が約400ha削減（約690ha→約290ha）され、緑地などを除いた防護対象エリアにおける浸水面積は概ね解消されることを想定しています。

| | |
|---|---|
| **SDGs目標** |  |
| **浸水面積の削減量** | 約400ha（推計） |

■湾岸部の高波対策



[出所：大阪市HP]

# 無電柱化事業

## 具体的な資金使途

| プロジェクト分類 | 対象事業 | 環境面／社会面での便益 |
|---|---|---|
| **気候変動適応** | 無電柱化事業 | 自然災害リスクに対する防災機能の強化 |

## 無電柱化事業

- グリーンボンドの調達資金は無電柱化事業に充当しました。
- 本市では、無電柱化の推進に関する施策を総合的、計画的かつ迅速に推進すること等を目的に「大阪市無電柱化推進計画」（2019年3月）を策定し、無電柱化を推進しています。
- 無電柱化事業により、気候変動により激甚化する台風等の自然災害時に電柱の倒壊や電線の切断等にともなう被災が回避されるほか、多重防御の観点から減災に資する事業であり、緊急車両の通行を確保すべき交通路のうち重点14路線を対象に、整備効果の高い道路の無電柱化を優先的に進めています。

| | | |
|---|---|---|
| **SDGs目標** |  | |
| **幹線道路の延長距離**<br>**整備延長の距離**<br>**整備の進捗率** | 844km<br>286km<br>33% | ※市内の４車線以上の幹線道路（直轄国道含む）における無電柱化整備状況（令和８年３月時点） |

■台風21 号 被災状況（2018 年）



[出所：大阪府]

# うめきた２期区域のまちづくり（大深町地区防災公園街区整備事業）

## 具体的な資金使途

| プロジェクト分類 | 対象事業 | 環境面／社会面での便益 |
|---|---|---|
| **気候変動適応** | うめきた２期区域のまちづくり<br>（大深町地区防災公園街区整備事業） | 自然災害リスクに対する防災機能の強化<br>ヒートアイランド現象による気温上昇の抑制 |

## うめきた２期区域のまちづくり（大深町地区防災公園街区整備事業）

- グリーンボンドの調達資金は、うめきた２期区域のまちづくりに充当しました。
- 本市は、世界の人々を惹きつける「大阪の顔」となる都市空間を備えたまちづくりの実現をめざしており、大深町地区防災公園街区整備事業は、うめきた2期区域の中心部に都市公園を整備するもので、当該区域におけるまちづくりの基盤整備にあたります。
- グリーンインフラ技術の考え方を採用した大規模な都市緑化により、防災・減災機能の強化及び暑熱対策、水資源循環、自然景観の復元及び生態系ネットワークの形成に資するものであることから、環境改善効果が見込まれます。

| | |
|---|---|
| **SDGs目標** |  |
| **緑地・親水空間の面積** | 約4.4ha |

■グラングリーン大阪　全景イメージ



[出所：グラングリーン大阪開発事業者]